

《資料館便り》

平成 26 (2014) 年
1 2 月 (特別) 号



石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和 49 (1974) 年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけの一つです。

○「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

調査進展！ ～鉱物保護収集委員会～



和久観音山での調査

で、地質学上貴重な地点でありながら、まったく忘れ去られている場所も確認され、保護・保存の大きな検討課題となりました。

鉱物保護収集委員会は、今後も町内各所の調査を進めると同時に、将来の「鉱物館」建設を視野に、他県の博物館等先進地域視察も計画しています。

○「鉱物を活かした町づくり」に寄与するため、今年度再発足した鉱物保護収集委員会の活動が進んでいます。主な活動は、町内の天然記念物や旧鉱山跡を調査し、鉱物・岩石の保存・保護、教育普及を考える資料を集めることです。

これまでに、和久観音山、石川山、北山形球状花崗岩、竹柄かんらん岩採掘地等を巡回しました。この中には現在保存会が、保護・教育普及活動を実際に行っ

ている所もあります。しかし一方



北山形での調査

企画展 「あぶくま高地の緑柱石」終了！



↑ 緑柱石 (アクアマリン)

石川地方は、国内最大の結晶を産する所として有名ですが、今回の展示は、「学法石川高校鉱物館所蔵品」といった著名な標本だけでなく、町の収集家が「秘蔵」していた標本が初めて公開された点に大きな意義がありました。中には、「アクアマリン」「エメラルド」と呼ばれる無傷・透明な標本がいくつも展示され、来館された方々の驚きや賛辞を呼んでいました。

○企画展「あぶくま高地の緑柱石」は、遠くは札幌市あるいは岡山市等、県外から多数のお客様を迎えし、大好評のうちに11月末に終了しました。

緑柱石はその美しさから、最も人気のある鉱物です。特に美しいと評されるのは「アクアマリン」「エメラルド」です。



↑ 母岩中の緑柱石